

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 11-345371
 (43)Date of publication of application : 14.12.1999

(51)Int.Cl. G07G 1/12
 G07G 1/14

(21)Application number : 10-166105 (71)Applicant : M & C SYSTEM:KK
 (22)Date of filing : 29.05.1998 (72)Inventor : FURUBAYASHI HIROSHI

(54) SALES MANAGING DEVICE**(57)Abstract:**

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a sales managing device capable of realizing a point system by which not only a store side and a customer but also a maker side or the like can enjoy a merit.

SOLUTION: The sales managing device is provided with a table which is used together with a member card where information concerning points is recorded, updated and reproduced and by which the number of designation commodity multiples for deciding the multiples of a designation commodity point rate or a normal point rate concerning card member designation commodities which are previously designated for the card members among the multiple treated commodities is held together with application period to be applied. The device recognizes that the application period is the one concerning the member designation commodities at the time of the purchase of them after presenting the member card, calculates a purchase money amount \times the designation commodity point rate or the purchase money amount \times the normal point rate \times the number of designation commodity multiples and calculates the number of points concerning the member designation commodities.

特許 11-345371 (第 3770)			
<発明の要旨>	<出願人>	<特許権者>	<発明の要旨>
0001-10	0001-10	5 年	1998 年 7 月 17 日 ~ 7 月 17 日
0003-10	0003-10	4 年	1999 年 5 月 1 日 ~ 6 月 19 日

LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 22.09.1999

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 05.02.2002

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平11-345371

(43)公開日 平成11年(1999)12月14日

(51)Int.Cl.⁶
G 0 7 G 1/12
1/14

識別記号
3 2 1

F I
G 0 7 G 1/12
1/14 3 2 1 L

審査請求 有 請求項の数5 FD (全 6 頁)

(21)出願番号 特願平10-166105

(22)出願日 平成10年(1998) 5月29日

(71)出願人 591133239

株式会社エムアンドシーシステム
東京都豊島区南池袋1丁目16番18号

(72)発明者 古林 宏

東京都豊島区南池袋1-16-18 株式会社
エムアンドシーシステム内

(74)代理人 弁理士 川崎 仁 (外1名)

(54)【発明の名称】 販売管理装置

(57)【要約】

【課題】 店舗側および顧客のみならず、メーカー側等もメリットを享受することのできるポイントシステムを実現することのできる販売管理装置を提供する。

【解決手段】 本発明の販売管理装置は、ポイントに関する情報が記録、更新、再生される会員カードとともに使用され、取り扱っている多数の商品の中からカード会員のために予め指定されたカード会員指定商品についての指定商品ポイント率あるいは通常ポイント率の何倍かを決定する指定商品倍数を、その商品のコードおよび前記指定商品倍数を適用すべき適用期間とともに保持するテーブルを備え、前記会員カードの提示のうえ、前記カード会員指定商品につき購入があったとき、その会員指定商品についての適用期間であることを確認し、購入金額×前記指定商品ポイント率あるいは購入金額×通常ポイント率×指定商品倍数を演算し、その会員指定商品についてのポイント数を算出することを特徴とする。

名称 カード会員商品情報 (第2テーブル)			
<商品コード>	<商品名>	<ポイント倍数>	<適用期間>
0001-11	〇〇ボン酢	5倍	1998年7月15日~7月17日
0002-11	△△△缶コーラ	3倍	1998年6月1日~6月13日
?			

【特許請求の範囲】

【請求項1】 ポイントに関する情報が記録、更新、再生される会員カードとともに使用され、取り扱っている多数の商品の中からカード会員のために予め指定されたカード会員指定商品についての指定商品ポイント率あるいは通常ポイント率の何倍かを決定する指定商品倍数を、その商品のコードおよび前記指定商品倍数を適用すべき適用期間とともに保持するテーブルを備え、前記会員カードの提示のうえ、前記カード会員指定商品につき購入があったとき、その会員指定商品についての適用期間であることを確認し、購入金額×前記指定商品ポイント率あるいは購入金額×通常ポイント率×指定商品倍数を演算し、その会員指定商品についてのポイント数を算出することを特徴とする販売管理装置。

【請求項2】 ポイントに関する情報が記録、更新、再生される会員カードとともに使用され、全体商品についての価格に対する通常ポイント率を定めるための第1テーブルと、前記商品の中からカード会員のために予め指定されたカード会員指定商品について、各カード会員指定商品毎にポイントを前記通常ポイント率の何倍にするかを定めた指定商品倍数を、その商品のコードおよび前記指定商品倍数を適用すべき適用期間とともに保持する第2テーブルとを備え、前記会員カードの提示のうえ、商品の購入があったとき、前記第1テーブルから通常ポイント率を読み出すとともに、入力された商品のコードにより前記第2テーブルを検索して、適用期間内のカード会員指定商品につき指定商品倍数を読み出し、カード会員指定商品については、カード会員指定商品毎に、購入金額×通常ポイント率×指定商品倍数を演算し、カード会員指定商品毎のポイント数を算出するとともに、通常商品については、前記通常ポイント率に従いポイント数を算出し、前記カード会員指定商品毎のポイント数と通常商品のポイント数を合算することにより、今回の商品購入における今回ポイント数を算出することを特徴とする販売管理装置。

【請求項3】 前記カード会員指定商品毎のポイント数、指定商品倍数およびカード会員指定商品である旨、前記通常商品のポイント数、および前記今回ポイントが表示されたシートを発行する請求項1または2の販売管理装置。

【請求項4】 更に、前回購入までの累計ポイント数あるいは今回ポイント数までを含めた累計ポイント数が表示されたシートを発行する請求項3の販売管理装置。

【請求項5】 更に、前記シートに、レシートの一般的記載事項が表示されたレシートを発行する請求項3または4の販売管理装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、販売管理装置に関するものである。

【0002】

【従来の技術】 近年、商品を購入したり、サービスの提供を受けたりした際にカードを用いて支払いをするカード会員システムが多く採用されている。特に、デパート、チェーン化小売店、クレジット販売店等では、カード会員に自社カードを発行し、この自社カードを通じて顧客の流動化を防ぎ、固定化を図ろうとしている。このような自社カードを使用してもらうことにより、顧客がどのような商品を何時購入したかというような顧客情報をきめ細かく収集し、顧客がどのような商品を欲しているかというニーズを的確に把握することができる。

【0003】 このためには、広い範囲の顧客にできるだけ自社カードを継続的に使用してもらうことが必要である。そのため、顧客に対して、購入額に応じて割引をしたり、景品を提供したりするサービスを行なうことにより、カード会員を勧誘するとともに、継続的にカードを使用する動機付けを行なおうとしている。

【0004】 上記カード会員サービスとして、購入額に応じてポイントを付与し、このポイントの累計数に応じて、クーポン券を発行したり、特定の景品を差し上げるポイントサービスが存在する。

【0005】 このようなポイントサービスは、店舗側や顧客は、システムのメリットを十分享受できるが、商品のメーカー等にあってはあまりメリットを感じるものではなかった。特定のメーカー等にあっては、メーカー協賛商品として、店舗側と協力して当該商品の値引き等を行なっているのが現状であった。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】 そこで、本発明は、店舗側および顧客のみならず、メーカー側等もメリットを享受することのできるポイントシステムを実現することのできる販売管理装置を提供することを目的とするものである。

【0007】

【課題を解決するための手段】 このような目的は、下記(1)～(5)の本発明により達成される。

(1) ポイントに関する情報が記録、更新、再生される会員カードとともに使用され、取り扱っている多数の商品の中からカード会員のために予め指定されたカード会員指定商品についての指定商品ポイント率あるいは通常ポイント率の何倍かを決定する指定商品倍数を、その商品のコードおよび前記指定商品倍数を適用すべき適用期間とともに保持するテーブルを備え、前記会員カードの提示のうえ、前記カード会員指定商品につき購入があったとき、その会員指定商品についての適用期間であることを確認し、購入金額×前記指定商品ポイント率あるいは購入金額×通常ポイント率×指定商品倍数を演算し、その会員指定商品についてのポイント数を算出することを特徴とする販売管理装置。

(2) ポイントに関する情報が記録、更新、再生され

る会員カードとともに使用され、全体商品についての価格に対する通常ポイント率を定めるための第1テーブルと、前記商品の中からカード会員のために予め指定されたカード会員指定商品について、各カード会員指定商品毎にポイントを前記通常ポイント率の何倍にするかを定めた指定商品倍率を、その商品のコードおよび前記指定商品倍率を適用すべき適用期間とともに保持する第2テーブルとを備え、前記会員カードの提示のうえ、商品の購入があったとき、前記第1テーブルから通常ポイント率を読み出すとともに、入力された商品のコードにより前記第2テーブルを検索して、適用期間内のカード会員指定商品につき指定商品倍率を読み出し、カード会員指定商品については、カード会員指定商品毎に、購入金額×通常ポイント率×指定商品倍率を演算し、カード会員指定商品毎のポイント数を算出するとともに、通常商品については、前記通常ポイント率に従いポイント数を算出し、前記カード会員指定商品毎のポイント数と通常商品のポイント数を合算することにより、今回の商品購入における今回ポイント数を算出することを特徴とする販売管理装置。

(3) 前記カード会員指定商品毎のポイント数、指定商品倍率およびカード会員指定商品である旨、前記通常商品のポイント数、および前記今回ポイントが表示されたシートを発行する上記(1)または(2)の販売管理装置。

(4) 更に、前回購入までの累計ポイント数あるいは今回ポイント数までを含めた累計ポイント数が表示されたシートを発行する上記(3)の販売管理装置。

(5) 更に、前記シートに、レシートの一般的記載事項が表示されたレシートを発行する上記(3)または(4)の販売管理装置。

【0008】

【発明の作用・効果】本発明の販売管理装置によれば、その顧客がカード会員である場合とカード会員でない場合をハッキリ別けて販売管理を行い、例えば、レシート上に、カード会員指定商品につき、指定商品倍率を示すことにより、カード会員たる顧客に、会員に対するサービスを具体的にかつ強くアピールすることができる。

【0009】そのとき、カード会員指定商品が、メーカー協賛商品である場合には、メーカー協賛商品であることを、上記レシート上に表示すれば、メーカー側から見た商品の拡販にもつながる。更には、上記テーブル上にカード会員指定商品の適用期間も記憶させたので、店舗側では、上記テーブルの更新を例えば3ヶ月に一度といったような間隔で行えばよく、管理も簡便である。

【0010】

【実施例】以下、添付図面を参照しつつ、本発明の好ましい実施例による販売管理装置について説明する。以下に説明する実施例においては、カード会員は予め会員ナンバーや累計ポイントが例えば磁気的に記録された会員

カードを所持しているものとする。なお、この会員カードは、情報の書込み読み取りができるものであるならいかなるカードであってもよいが、長時間の使用に耐えうるJIS規格に定められた磁気カードであることが望ましい。また、このカードは、クレジットカードとしても用いることのできるものであることが好ましい。

【0011】図1は、本発明の実施例による販売管理装置のブロック図である。

【0012】この図において、符号1は、各店舗等に通常複数設置されるPOS端末装置を示し、このPOS端末装置1は、ストアコンピュータ2に接続されている。このストアコンピュータ2は、商品マスタファイルFを備えており、この商品マスタファイルFは、商品コードFaとともに、商品名称Fb、その商品の通常単価すなわち標準単価Fc、通常ポイント率情報(第1テーブル)Fdおよびカード会員商品情報(第2テーブル)Feが記憶されている。カード会員商品情報Feとして、取り扱っている商品のなかからカード会員のため予め指定されたカード会員指定商品について、各カード会員指定商品毎にポイントを上記通常ポイント率の何倍にするかを定めた指定商品倍率を、その商品の名称とコード、および上記指定商品倍率を適用すべき適用期間とともに保持されている。上記商品の名称としては、その商品がメーカー協賛商品である場合には、「〇〇〇(社名)ボン酢」や「△△△缶コーラ」のように社名付きで記憶している。以上のようなカード会員商品情報Feは、例えば図2に示したようなテーブルとして記憶されている。

【0013】なお、カード会員指定商品は、上記のように単品毎ではなく、肉、野菜といったような部門毎であってもよい。この場合、上記の商品のコードとしては、部門コードが記憶される。

【0014】上記ストアコンピュータ2には、フロントエンドプロセッサ3を介して、ホストコンピュータ4が接続されている。上記商品マスタファイルFは、これらのフロントエンドプロセッサ3、ホストコンピュータ4に設けられていてもよい。上記ホストコンピュータ4は、会員データファイル5を備えており、各会員についての購買情報やポイント等の各種データが会員(カード)番号とともに記憶されている。

【0015】また、上記ストアコンピュータ2(またはフロントエンドプロセッサ4、ホストコンピュータ5、あるいはPOS端末装置1の記憶部)には、カード会員向けのメッセージ「会員特典5倍ポイント」等のレシートに印字されるべきメッセージを予め記憶している。

【0016】上記POS端末装置1には、テンキー等の各種キーを備えたキー入力装置6、各商品に付けられ、商品コード等の商品情報(単価を含むことがある)を示すバーコードBを読み取るためのバーコードスキャナ7、およびカードCに記録された会員(カード)番号を読み取るカード取扱装置8の各種入力装置が接続されて

いる。上記カード取扱装置8は、カードへ情報の書込みを行なうこともできるリーダーライターであることが望ましい。

【0017】POS端末装置1には、更に購入の際に顧客に手渡されるレシートRまたは伝票をプリントするためのプリンタ9が接続されている。

【0018】次に、顧客がカード会員である場合の装置の作動状態およびその時に発行されるレシートについて説明する。なお、顧客は、通常商品であるミリン等、カード会員指定商品である〇〇〇ボン酢を2ケ、および△△△缶コーラを3ケ購入したものとして説明する。通常ポイント率は1/100、指定商品倍率は、図2のテーブルの通り、〇〇〇ボン酢が5倍、△△△缶コーラが3倍であるとする。また、カードの提示が購入商品についてのコード等の打キーあるいはバーコード読み取りによる入力前に行なわれた場合について説明する。

【0019】まず、カード取扱装置8により、提示された会員カードCから会員（カード）番号を読み込み、カード会員であることを確認する。次いで、購入商品の商品コードをキー入力装置6、バーコードスキャナ7によりPOS端末装置1に入力する。

【0020】POS端末装置1は、この商品コードをストアコンピュータ2に転送する。このストアコンピュータ2は、商品マスタファイル3内から上記商品コードから当該商品についての商品名称、標準単価、通常ポイント率、適用期間内のカード会員指定商品の指定商品倍率を読み出し、これらのデータをPOS端末装置1に転送する。

【0021】POS端末装置1は、これら転送された商品データに基づき、まず上記指定商品倍率を適用すべきか否かの判断を行なう。この例では、顧客がカード会員であり、カードCの提示を行なっているため、カード会員指定商品について指定商品倍率を採用することを判定する。次いで、通常商品についての合計購入金額、カード会員指定商品毎の合計購入金額、全商品についての購入価格の合計を演算する。以上と同時に、通常商品についての合計購入金額に通常ポイント率を掛けて通常ポイント数を算出するとともに、カード会員指定商品毎の合計購入金額に通常ポイント率とその商品についての指定商品倍率を掛けて、カード会員指定商品毎のポイント数を算出する。具体的には、〇〇〇ボン酢の場合、数量2で、金額が600円であるので、通常ポイント率を適用した場合には、ポイント数は6点となるが、今回は指定商品倍率5倍が適用されるので、その5倍され、ポイント数は30点となる。△△△缶コーラの場合は、数量3で、金額が345円であるので、通常ポイント率を適用した場合には、ポイント数は3点となるが、今回は指定商品倍率3倍が適用されるので、その3倍され、ポイント数は30点となる。なお、本例では、通常ポイント数は22点であったとする。ついで、上記通常ポイント数

と、カード会員指定商品毎のポイント数を合算して今回ポイントを算出する。さらに、この算出された今回ポイントにカードCから読み出した累計ポイントを加えて新たな累計ポイントを演算する。なお、上記POS端末装置1においては、消費税の演算等の他に必要な演算等の作動が行なわれる。

【0022】この新たな累計ポイントは、好ましくは更新年月日とともに、上記カードCに更新記録される。

【0023】最後に、キー入力装置のエンターキーや合計キーを操作することにより、以上のデータのほぼ全体が印字されたレシート10を発行する。

【0024】次に、上記の場合において、上記POS端末装置1の上記プリンタ9から発行されるレシート10の内容について説明する。

【0025】図3は、発行されたレシートを示す平面図である。

【0026】本レシート10上には、図3に示されているような種々の記載欄が配置され、各記載欄に商品の購買に従う所定事項が記載されている。

【0027】レシート10の一番上には、発行店名欄12が配置されている。発行店名欄12には、レシート10を発行した店の名前が記載されている。本実施例では、「M&Cストア池袋店」と記載されている。

【0028】発行店名欄12の下には、購入額明細欄18が配されている。購入額明細欄18は、購入した商品（実際の商品名及び／又は商品コード）を記載した商品名欄18a、各商品の数量、個数を記載した数量欄18b、および各商品の金額を記載した金額欄18cを備えている。

【0029】本例では、商品番号が「0001-11」なる「〇〇〇ボン酢」を数量2で金額「600円」、商品番号が「0001-12」なる「ミリン」を数量1で金額「200円」および商品番号が「0002-11」なる「△△△缶コーラ」を数量3で金額「345円」……とそれぞれ記載されている。

【0030】購入額明細欄18の下には、図示していないがその他のレシートの一般的記載事項、例えば標準額欄18cに示された各商品の金額を合算した合計額が示された合計額欄、消費税額等の税金の額を記載した税額欄、預かり金額を記載した預かり金額欄、および釣銭額を記載した釣銭額欄等がそれぞれ順に配置されている。以上をレシート記載事項欄と称することがある。

【0031】また、本レシートでは、上記〇〇〇ボン酢および△△△缶コーラがカード会員指定商品であるので、それぞれの商品の欄の直下に、その商品につきカード会員が得られるポイントについての特典を具体的に表示する特典表示欄20が記載されている。

【0032】本例では、上記〇〇〇ボン酢の指定商品倍率が5倍、△△△缶コーラの指定商品倍率が3倍であるので、〇〇〇ボン酢の特典表示欄20には、「会員特典

5倍ポイント」の語が、△△△缶コーラの特典表示欄20には、「会員特典3倍ポイント」の語がそれぞれ記載されている。

【0033】さらに、本レシートの下部には、ポイント表示欄30が設けられている。このポイント表示欄30には、今回購入におけるカード会員指定商品についての指定商品ポイント表示欄32、通常ポイント表示欄34、今回ポイント表示欄36および累計ポイント表示欄38が設けられている。

【0034】上記指定商品ポイント表示欄32には、商品名欄32a、その商品につきカード会員が得られるポイントについての特典を具体的に表示する特典表示欄32b、およびその商品についての実際のポイント数を示すポイント数欄32cが設けられている。

【0035】本例では、商品名欄32aには、「○○○ボン酢」および「△△△缶コーラ」が、特典表示欄32bには、「5倍ポイント」および「3倍ポイント」が、そして、ポイント数欄32cには、「30点」および「9点」がそれぞれ記載されている。

【0036】上記通常ポイント表示欄34には、通常ポイントを意味する語と実際のポイント数が表示される。本例では、「通常ポイント」の語と、「22点」が表示されている。なお、指定商品ポイント表示欄32がない場合には、この通常ポイント表示欄34も表示する必要はない。

【0037】上記今回ポイント表示欄36には、今回ポイントを意味する語と実際のポイント数が表示される。本例では、「今回ポイント」の語と「61点」が表示されている。

【0038】上記累計ポイント表示欄38には、累計ポイントを意味する語と実際のポイント数が表示される。本例では、「累計ポイント」の語と「346点」が表示されている。なお、この累計ポイント表示欄38は、前回までの累計ポイントを表示してもよい。その場合には、例えば、「前回までの累計ポイント」等の語と、「284点」が表示される。

【0039】以上のポイント表示欄30には、図示していないが、カード会員番号を記載するカード会員番号欄を設けてもよい。また、顧客の姓名を記載してもよい。

【0040】以上の例では、レシート記載事項欄とポイント表示欄30の両方に指定商品倍数等の表示を行なう例について説明したが、この指定商品倍数等は、レシート記載事項欄とポイント表示欄30の何れか一方、好ましくはポイント表示欄30のみに表示してもよい。また、上記の特典表示欄20や指定商品ポイント表示欄32には、その適用期間を具体的に「適用期間1998年

7月15日～7月17日」等のように表示してもよい。さらに、レシート記載事項欄とポイント表示欄30とは、1片のシートに表示することが好ましいが、別々のシートに表示してもよい。この場合にも、2片のシート（レシートとポイント表示シート）とは、POS端末機から連続して発行されるようにしておくことが好ましい。

【0041】また、カード会員でない顧客の場合には、上記特典表示欄20や指定商品ポイント表示欄32に、「カード会員の場合、ポイントが5倍になります」等のメッセージを記載して、会員勧誘の一助としてもよい。

【0042】以上の本発明によれば、カード会員に対しての指定商品についてのポイントの数倍付け特売を強烈にアピールでき、また、その際、そのメーカー名等もアピールできるので、次の購買における動機付けが容易となる等種々のメリットがある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施例による販売管理装置の概略ブロック図である。

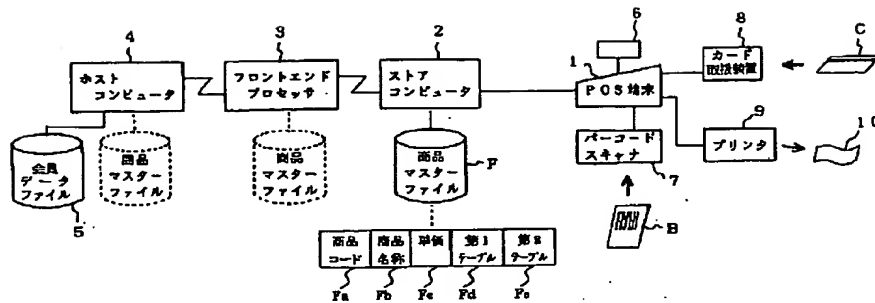
【図2】上記販売管理装置に記憶されたカード会員商品情報（第2テーブル）の内容を説明する図である。

【図3】上記販売管理装置から発行されるレシートの一例を示す平面図である。

【符号の説明】

C	会員カード
F	商品マスタファイル
1	POS端末装置
2	ストアコンピュータ
4	ホストコンピュータ
5	会員データファイル
6	キー入力装置
7	バーコードスキャナ
8	カード取扱装置
9	プリンタ
10	レシート
12	発行店名欄
18	購入額明細欄
18a	商品名欄
18b	数量欄
18c	金欄
20	特典表示欄
30	ポイント表示欄
32	指定商品ポイント表示欄
34	通常ポイント表示欄
36	今回ポイント表示欄
38	累計ポイント表示欄

【図1】



【図2】

名称 カード会員商品情報 (第2テーブル)				
<商品コード>	<商品名>	<ポイント倍率>	<適用期間>	
0001-11	〇〇ボン酢	5倍	1998年7月15日~7月17日	
0002-11	△△△缶コラー	3倍	1998年5月1日~8月13日	
?				

【図3】

M&Cストア池袋店			
(商品名)	(数量)	(金額)	
0001-11 〇〇ボン酢	2	600円	
会員特典5倍ポイント			
0001-12 ミリン	1	200円	
0002-11 △△△缶コラー	8	345円	
会員特典3倍ポイント			
〇〇〇ボン酢 5倍ポイント 30点			
△△△缶コラー 3倍ポイント 9点			
通常ポイント 22点			
今回ポイント 61点			
累計ポイント 345点			